

広 報

こだま

2012

Vol.11

【栗田病院 広報誌】

特集

最新の精神医療

第3回「認知症について」

治療アラカルト

フォーカス くりた人

認知症疾患治療病棟 作業療法士 和地 麻里

認知症治療の流れ



有朋会・理念

- 1 私達は、明るく開放的な雰囲気をつくり、様々なこころの悩みに応えることができる法人を目指します。
- 2 私達は、患者様、利用者様一人一人を尊重した支援を行い、共に歩んでいきます。
- 3 私達は、情熱と誇りを持って質の高い医療・介護を提供します。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>



最新の精神医療

第3回「認知症について」

第3回は、『認知症』についての特集です

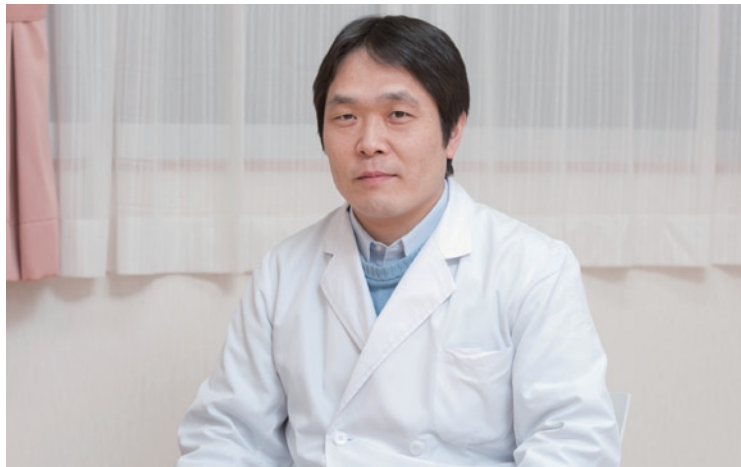
認知症の背景

一般的な認知症の背景としては、「記憶、見当識、知識、行為、認知、感情、人格」など種々の高次脳機能が複数障害されることにより、自身の置かれた状況に対して判断や行動が障害された状態です。

これらの知的障害は生得的ではなく、いったん正常に発達した知能が後天的に低下したものです。

認知症は様々な原因で引き起こされる症候群と位置づけられており、数多くの疾患が含まれています。その病態は疾患によりきわめて多彩ですが、最もよく知られた疾患としてはアルツハイマー型認知症であり、さらに脳血管性認知症、レビー小体型認知症がよく知られています。これらをあわせ三大認知症、さらには前頭側頭型認知症を加え四大認知症とも呼ばれています。

高齢化に伴い認知症が増加することが予想されますが、有病率も最近の



副院長 安部 秀三

症状・治療

認知症の特徴的な症状は、大きく分けて中核症状と周辺症状に分けられます。中核症状は認知機能障害のことで記憶障害、見当識障害、判断力の障害、性格変化などがあります。中核症状は認知症の経過を通して常に存在し、徐々に進行していく症状ですべての患者さんに起こります。

一方周辺症状は妄想や幻覚などの精神症状、徘徊、暴言・暴力などの行動障害であり、BPSDとも呼びます。周辺症状はすべての患者さんにみられるわけではありません。

認知症の治療は、大きく分けて薬物療法とリハビリテーションの非薬物療法に分けられます。薬物療法は認知症のタイプ（アルツハイマー

型、脳血管型、レビー小体型、前頭側頭型など）、出現している症状とその程度などによって必要な薬物を総合的に判断します。このなかで注目されていることとして、アルツハイマー型認知症の治療薬が昨年から3種類上市されたことです。

実際の治療有効性の程度については今後明らかになっていくと思いますが、承認された内容としては認知症の進行を遅らせる効果であり、既存の薬剤と承認内容は変わりません。症状のなかでも周辺症状が強く出ている場合には漢方薬や少量の抗精神病薬を一定期間追加することもあります。非薬物療法はおおむねどのケースにおいても実施することが望ましいとされます。

地域連携について

認知症の地域連携については、国や自治体でも様々な議論されています。基本的な考えとして、「認知症になっても安心して住める地域作り」を目指していくという目標があります。今後の高齢化の中で、そのような地域作りをしていくことが喫緊の問題であるという現状があるからです。

地域ケアを支える制度の根幹はやはり介護保険ですが、抗認知症薬などの医療、地域での予防の取り組みや認知症の人と家族への応援者である地域の認知症サポーターも含めたかなり広い連携が考えられています。地域のサポーターを一〇〇万人養成する運動が行われ、現在その目標を遥かに超え三三〇万人（平成24年3月末）となっています。

また、最近、医療介護の連携としていくつかの地域で興味深い取り組みがみられています。地域の医師会や認知症疾患センターが中心となり、医療と介護が有機的に連携をとれるような認知症地域連携パスや病状や介護情報などを記載した認知症手帳が作成されています。

当法人も認知症疾患医療センターを茨城県から指定を受けており、この地域で「認知症になっても安心して住める地域作り」に取り組んでいます。

治療アラカルト

認知症に対して行っている当院の取り組みについてご紹介します

認知症疾患医療センターとしての地域連携

当院では、茨城県から指定を受け、平成21年12月より認知症疾患医療センターを開設しています。当センターの主な役割としては、認知症に関する専門医療の提供（特に鑑別診断や周辺症状への対応）、専門医療相談、認知症についての普及・啓発等があります。

また、センターでは地域連携の機能が重要となっています。日常的には、地域包括支援センターとの連携を中心に、行政機関や介護関係機関とも協力しながら、スムーズな医療の提供、また、介護サービスの調整等を行っています。

具体的な取り組みの一つとして、認知症の周辺症状が増悪していても、患者様の拒否により医療機関を受診できない方等のご自宅を、地域包括支援セン



認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 櫻井 莊子

ター職員と共に訪問して相談を行っています。また、研修会や認知症疾患医療連携協議会の開催を通して、地域の保健医療機関や介護関係機関との顔の見える連携体制構築を目指しています。

現在、このような取り組みを行う中で、各関係機関の方や地

認知症ケア（デイサービス）

デイサービス「リクリ」は、認知症の方々が利用される認知症対応型通所介護です。

利用者様は、身体面や精神面から様々な症状がみられ、本人、家族のニーズもそれぞれ違います。私達は、利用者様本人の身体面や精神面をふまえ、本人のニ



認知症対応型通所介護施設 社会福祉主事 真田 正樹

ズを一番に考えた個別ケアを行う事を特に意識して業務を行うことが必要だと考えています。私達は、自分が利用者様本人だったらの様な気持ちなのかを考え、本人の目線にたつて業務を行っています。

本人が様々な問題行動を起こしたと世間で言うことがありますが、それは第三者が感じている事で、本人は全く問題行動とは思っておらず、むしろ何か思いや考えがあつて行動しています。その思いや考えをしっかりと受け止め、共感の心を持ちつつケアを行っています。

また、チームケアも重要視しています。一人でケアについて考えていると、固定概念が出たり、一通方向のみの考えになる場合があります。当法人では多職種で様々な視点から本人に対するケアを考え、質の高いケアを行っています。

認知症ケア（居宅支援事業所）

「認知症の人」ではなく、「認知症という病気を患っている状態の人」として、その方の性格や趣味、生活歴や学歴、職歴など誰一人として同じ事はない「その人を知る」事から始め、「どのような生活を望まれているのか？」と考えるようにしています。ご本人が話をする事ができなくても、ご家族からお聞きし一緒に考え、よりご本人の気持ちに近づけるようにと思っています。ご家族の意向と違う事もあるかとは思いますが、そのような時にはできるだけ歩み寄った形で支援を心掛けています。

人生の先輩として、教えていただき、学ぶ事も沢山あります。亀の甲より年の功です。自分も含めてですが、できない事や困っている事に目が向きがちですが、できる事でできている事に注目していく事が大切であると感じています。一緒に笑ったり、泣いたり、怒ったりしながらこれからも過ごしていきたいと思っています。

「認知症」は病気ですので癌に罹患するのと同様、誰でも罹る可能性があります。結核や癌が不治の病と言われ恐れられてきましたが、現在では治る病気となりましが進み、薬が開発されワクチンが世に出てくるのも時間の問題となっておりま。それまで、病気を恐れず自分らしく過ごせるように共に歩んでいく事が私たちの使命であり想いです。



居宅介護支援事業所 クリクリ ケアマネージャー 江幡 規子

フォーカス くりた人



認知症疾患治療病棟
作業療法士 和地 麻里

当院で勤務している現場職員の声をお伝えします

院内ではどのような活動に参加していますか

私は当院の認知症治療病棟で作業療法士として勤務しています。主に、集団活動と個別の活動で患者様と関わらせていただいています。集団活動では、レクリエーション、音楽療法、創作活動等を通して、日中の活動性の維持を目指したり、生活リズムを整えたりすることを目標としています。

個別活動では、精神面のリハビリはもちろん、身体的なりハビリや、食事の環境を設定する等、その患者様1人ひとりの生活をみて、優先的に改善する必要があるところに関わっています。

患者様と関わる時に心がけていることはありますか

最初の声掛けだったりとか、挨拶するときだったりとか、まず患者様に安心感を持ってもらえる様に、受け入れてもらえる様に心がけています。どこの国、

場所かも分からなくて、周りは知らない人ばかりで、今日の日付も時間も分からない。認知症の患者様が感じている不安と言うのはそういったものに似ていると聞いたことがあります。だから、そういう状態では何よりも「ほっ」と出来る瞬間をもってもらえることが大切だと思います。それは言葉だけではなく、表情とか声のトーンとかリズムとか、しぐさとか、そういった部分も大事にしています。



印象に残っている方

印象に残っている方はすごくたくさんいらっしゃるんですけど。その方が私が入社した年に関わった患者様なんですけど。入院治療が進んで大分良くなった時に、ご自宅に帰られるのか、施設に入所されるのか、退院先の方向性で病棟としても悩みました。介護は必要な方でしたけど、ご家族がすごく熱心で、その想いに応えて何とか一緒に生活出来ないかと。病棟内で何度もカンファレンスを開きましたし、ご家族にも入って頂いて、担当のケアマネの方や、入所の候補になっていた施設の方にもいらっしやって頂いて話し合いを重ねました。私はそういった機会がそれまで無かったので、「これが本当の意味での連携なんだなって」って実感した事を覚えています。私の仕事は、その患者様の今後の人生や生活を決定するとても責任のある、重要なものなんだなと改めて気づかされました。

その方は結果としてご自宅に戻られて、今でも通所施設を利用しながらご家族と暮らされています。「マロン（当院の認知症治療病棟）に入院して本当に良かった。」とご家族に言っていたので、私も本当に良かったと思いますし、これからも患者様やご家族様にそうやっていただける様に一生懸命頑張りたいと思います。

将来の目標

ばつと言うのは難しいですけど、認知症グループホームや老健、特養等、マロンからの退院先になる施設の方々とのつながりを持てる様になりたいと思います。認知症の方は環境の変化に大きな影響を受けます。病棟で落ち着いて生活出来ていても、退院してまた環境がガラリと変化してしまうのでは意味が無いと思います。患者様の人生や生活に関わる職種として、今後その患者様がどういった環境で生活されるのか、今よりももっと退院後も見据えて関われる様になりたいと思います。病棟内だけではなく、地域とも強いつながりをもった作業療法士になりたいですね。



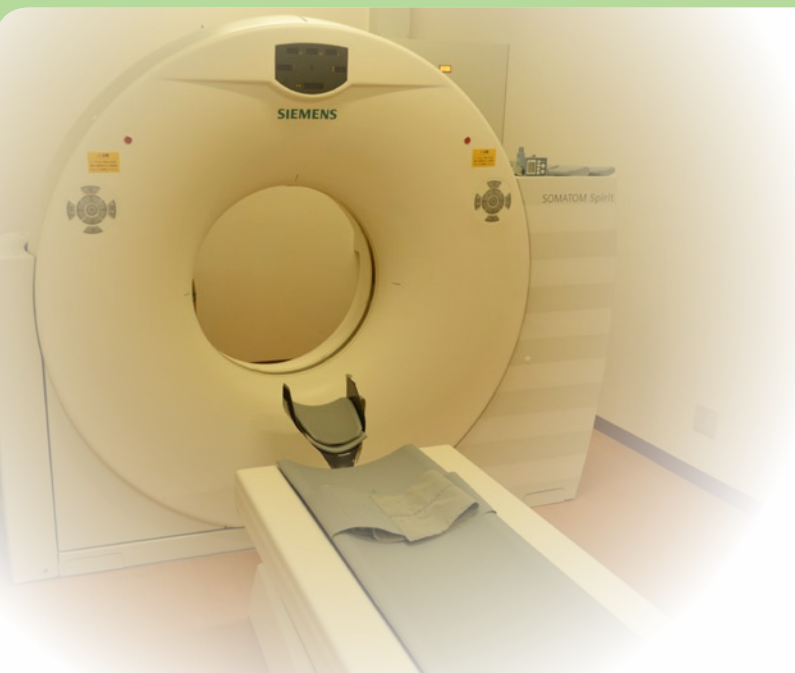
認知症治療の流れ

当院の認知症治療を受ける際の予約から診察までの流れ、治療についてご説明します。

新患の診察について

当院の診察は完全予約制になっております。新規の患者様の場合もまずは当院にお電話を頂き、ケーサーが状態をお聞きしながら受診日の調整をさせていただきます。

もちろん通常の新患予約でもお受けしておりますが、認知症疾患医療センターの窓口にご直接お問い合わせ頂くとよりスムーズです。



初診ではまず、認知症かどうかの鑑別を行います。もし認知症という診断がなされた場合には、さらにどういったタイプの認知症かの診断を行います。

診断の際には、これまでの生活歴や最近の症状をお聞きするのに加え、認知機能を調べる心理検査も行います。さらに、脳の画像診断も加え、総合的な情報から状態を診断します。画像診断に関しては、これまでご家族様に他院を受診しての撮影をお願いするというご不便をおかけしておりましたが、7月より院内にコンピュータ断層撮影（CT）を導入しまして、よりスピーディーに診察を行う事が可能となっております。



治療について

外来での薬物療法に加え、当法人では医療保険対応の認知症デイケアと認知症治療病棟、介護保険対

応の認知症専用デイサービス（那珂市・2か所・水戸市・2か所・ひたちなか市1か所）といった認知症患者様がご自宅や地域で生活するための支援、サポート体制を充実させています。



医療保険対応の認知症デイケアは県内でも珍しく、また、精神科病院を母体を持った認知症専用デイサービスも多くはありません。こういった、精神医療と介護の連携のとれたサポート体制が当法人の治療上の大きな特徴と言えます。

私たちの認知症についての考え方

私たちは、認知症の治療・支援にあたり、絶対的な安心感と、その人らしさの維持がもっとも重要な事と考えています。老年期は認知症を発症せずとも、人生の最終段階を迎える時期にあり、社会的地位の喪失をはじめ、子どもの独立、配偶者の死など、いくつもの新しい変化（喪失体験）を強いられる時期でもあります。

そういった中で認知症の発症はこれまで価値や習慣・生活が崩壊に向かい、更なる不安・焦燥感を抱える事になります。私たちは、その代償として引き起こされるのが認知症の周辺症状と考えています。

身なり・リズム・スタッフ・居場所・匂い：その場を構成する全ての「もの」や「ひと」が安心感を与える環境であると考え、治療や支援にあたって

《茨城県指定 認知症疾患医療センター》

TEL：(029) 298-1396（直通）
TEL：(029) 298-0175（栗田病院）

診療案内

外来担当医一覧表

受付時間 8:00 ~ 15:30 診察時間 9:00 ~ 15:30

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	安部	片野	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	堤	高橋	堤	菌部	堀	第 3,5 週 吉川 第 2 週 鈴木 第 4 週 安部
	3 診				木滝		高橋
	5 診						菌部
午 後	1 診	栗田				第 2,4 週 鈴木 もの忘れ外来	休診
	2 診		袖山	木滝		第 1,3,5 週 鈴木 第 2,4 週 安谷屋	
	3 診		佐藤			渡辺	

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

*外来は完全予約制になります（内科は除く）。電話対応時間 9:00 ~ 17:00 ■=内科

*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00 ~ 17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

認知症専用デイサービス

「クリクリ瓜連」

〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7

TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ豊喰」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰28-9

TEL.029-353-2056 FAX.029-353-2057

「クリクリ住吉」

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6

TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」

〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2

TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ青柳」

〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5

TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

グループホーム・ケアホーム

「くりの木荘」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1

TEL.029-295-7652

ケアホーム

「くりくり」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1

TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」

〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2

TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

自立訓練(生活訓練)事業所

「くりの実」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505

TEL & FAX 029-295-1834

アクセスマップ

